

倉庫業における階段、棧橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	倉庫2Fからの階段部分において、2階置場に置いていた6tヒッパラ、約25kgを階段を使って降ろそうとした際、階段の一番上部で足をすべらせ、ヒッパラとともに落下してしまった。転落時に打撲と擦り傷を負うとともに、最下段で、正面にある壁にぶつかりとまるが、ともに落ちてきたヒッパラが重なるような状態になったため、膝と足指を負傷したと思われる。	61	—
10	6~7	2階で業務を終え退勤後帰宅に3階から1階に下りる途中1階の階段で足を踏み外し右足首を捻る。	45	100~299
12	15~16	1期棟2Fから1Fにいたる階段の掃除を行っているときに、後ろ向きで踊り場をモップで拭いていて、後方に段差があることに気付かず足を踏み外し、階段から転げ落ちて手を負傷した。	59	300~499

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)